

姉妹都市締結20周年記念



宣言書を取り交わし
固い握手

友好姉妹都市協定20周年

共同宣言書

1983年10月チェルタルド市と甘栗町が友好姉妹都市として、両市町の友好親善の目的を以て、世界平和という普遍、各民族が共有する理想に向け「地球の光」としてともに歩み始めた。

以来20年という長きにわたる、子供たちの相互親善をはじめとした交流を積み重ね、振り返ればそこに数多くの友好という輝点を築き、新しい歴史を築きました。

これは、遠く離れた両市町の歴史と文化を相互に尊重し、友情と信頼を醸成し合いながら歩んできた証であり、得たものは何となくの地に根を張り、花を咲かす、多くの実を結び分けています。

こうした両市町交流の賜にも、世界各地で産物やことばなく争いが起こり続け、そして今でも多くの人たちが犠牲になっている事実を思うにつけ、両市町が中心地道が如何に素晴らしいものであったかをあらためて確認することができ、

今ここに友好親善姉妹都市協定20周年を迎え、両市町の若くも甘栗町に「イタリア街道」を設けた。

甘栗町とチェルタルド市は、この道を今まで歩んできた交流の軌跡、未来へと続く交流の夢を以て、これからも変わらない信念と強い絆により友好親善姉妹都市交流を続け、世界平和に貢献すべく努力し、共に歩むことをここに宣言する。

2004年2月27日

日本国甘栗町長
黒沢 繁夫 氏

イタリア共和国チェルタルド市長
ロザルバ・スビーニ 氏



昭和58年にイタリアチェルタルド市との姉妹都市締結を以て、20周年を迎えました。
これを記念して、2月24日から3月2日まで、同市のロザルバ・スビーニ市長ら4人が来町し、記念式典などが行われました。

20周年記念事業として、第一中学校裏に昨年開通した街道小川上野線から、ふれあいの丘へ通じる道路を「イタリア街道」と命名、記念碑の建立や記念植樹が行われました。
また、両市町のさらなる友好と世界平和を促す「共同宣言」を行い、黒沢町長とロザルバ・スビーニ市長が調印しました。

新たな交流に向けて共同宣言に調印

姉妹都市交流20年のあゆみ

○昭和58年10月19日、甘栗町使節団訪問(第1次)、翌10月20日、友好親善姉妹都市協定書に調印、交流が始まる。平成2年10月16日には友好親善姉妹都市協定10周年宣言書に調印し、親交を築く。

○甘栗町使節団のチェルタルド市訪問
昭和60年(第2次)、62年(第3次)、平成元年(第4次)、3年(第5次)、5年(第6次)、9年(第7次)、14年(第8次)

○甘栗町中学生使節団のチェルタルド市派遣
昭和61年(第1次)、63年(第2次)、平成2年(第3次)、4年(第4次)、5年(第5次)、8年(第6次)、10年(第7次)、12年(第8次)、14年(第9次)

○チェルタルド市使節団来町
昭和59年(第1次)、61年(第2次)、平成2年(第3次)、4年(第1次青年使節団)、5年(第2次青年使節団)、6年(第4次)、11年(第3次青年使節団)

柳沢正人、ファビオ・カルヴェッティ2人展

町文化会館
2月27日～3月21日

"星を夢み、時空を超えて"



20周年を記念して、柳沢正人、ファビオ・カルヴェッティ両氏の絵画展が開催されています。

東京都在住で、「かんらふる」こと大徳(二)でもある柳沢正人さんは、1992年より1993年までチェルタルド市に滞在、イタリアの街並みなどを数多く描き、姉妹都市締結10周年のときにも記念展を開催しました。ファビオ・カルヴェッティさんは、チェルタルド市生まれ、現在も同市で活躍し、世界各国で展覧を開催しています。今回の絵画展に合わせて、実現されました。

甘栗町そしてチェルタルド市にゆかりのある二人の画家の絵が、20周年記念の花を添えようとなりました。また同時に、滝上祥一郎さん(小幡)と松井千明さん(秋穂)の写真展も開催。お二人とも過去にチェルタルド市市訪問、甘栗町使節団として訪伊、その時撮影した写真で写真展を開催し、高い評価を得ています。